

12 丸ごと受け止める（性的マイノリティ）

5 （ナレーター）皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、中上真亜子がお届けします。

10 福岡市に、LGBTの子ども・若者のサポートに取り組む団体「FRIENDS（フレンズ）」があります。LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字をまとめたもので、性的マイノリティを表す総称の一つです。

15 代表の小野アンリさんは、生まれたときとは異なる性別を生きるトランスジェンダーです。

15 高校時代、「自分はおかしいんだ。知られてしまったら、今までのようには暮らせない」と、すごく不安で怖くて、本当の自分を隠そうとしていました。

20 高校3年生のとき、自分の性のことを、初めて友達に打ち明けました。友達は少し驚いたようでしたが、自然に受け入れてくれてホッとしました。ただ、しばらくは、「本心」は違うのではと、友達のことを疑っていたといいます。

しかし、友達は小野さんの性のあり方を尊重しつつ、今までと変わらずに接してくれて、それをきっかけにいろいろな

25

話をはなしするようになりました。

丸まるごとの自分じぶんを大切たいせつにしてくれる友達ともだちの存在そんざいが、「自分じぶんは自分じぶんのままでもいいんだ」と思おもわせてくれたのです。

30

LGBTの子こどもや若者わかものにとって一番大切いちばんたいせつなのは、「自分じぶんが、自分じぶんでいられること」です。

自分の性別せいべつを自分じぶんでどう思おもうか、どういった人ひとを好きすになるかは、生きる上うへで重要じゅうようなことであり、自分じぶんらしさのひと一つでもあります。だからこそ、身近みぢかな家族かぞくや友達ともだちからそれを否定ひていされることは、とてもしんどいものです。

35

小野おのさんを初はじめて受うけ止とめてくれた友達ともだちのように、LGBTの当事者とうじしやに共感きょうかんし、寄り添よってくれる人ひとたちのことを「アライ」と呼よびます。

小野おのさんは言いいます。

40

「誰だれかがLGBTのことをからかって、笑わらいのネタネタにしていくとします。注意ちゅういできればいいのですが、注意ちゅういできなくても、一緒いっしょになって笑わらわない。あるいは首くびをかしげる。そうやって同調どうちょうしないことも意思表示いしひょうじのひと一つであり、アライとしての一歩いっぽになるでしょう。

45

一人一人ひとりひとりが小ちいさな行こう動どうを変かえることで、大おおきな変へん化かが生うまれると信しんじています。」